



# 赤平中学校野球部 東日本少年軟式野球大会初出場

7月の全道大会で準優勝に輝いた、「赤平中学校・石山中学校(砂川市)・芦別中学校の合同チーム」が、茨城県水戸市で開催された「水戸市長旗 第12回東日本少年軟式野球大会」に初出場しました。

大会は8月12日～15日の4日間の日程で行なわれ、北海道・東北・関東・北信越・東海から27チームが出場し、トーナメント形式で優勝が争われました。

合同チームは、8月13日にノーブルホームスタジアム水戸にて、今大会で優勝した神奈川県代表「横浜クラブ」と初戦で対戦し、奮闘の末、1対2のスコアで惜敗しました。



## 出場激励会

8月1日に赤平中学校野球部の出場激励会がコミュニティセンター多目的ホールで行なわれ、野球部主将の笹森悠雅君が「期待に応えられるよう全力で試合に臨みます!!」と嶋山市長に決意を述べました。





# 赤平中学校3年生 鶯飼 凛さん



# 2大会出場の快挙! 全国大会出場



赤平中学校3年生の鶯飼凛さんは、全道各地から選手が集まる札幌の女子軟式野球チーム「JBC札幌」に中学進学時から参加し、キャプテンとしてチームをまとめ、選手としても、「4番・キャッチャー」を務め、まさにチームの要として活躍しています。

このたび、所属する「JBC札幌」が北海道予選を勝ち抜き、「第20回全日本女子軟式野球学生選手権大会」・「第1回宮本慎也杯女子中学軟式野球大会」、二つの全国大会の出場を勝ち取りました。

「第20回全日本女子軟式野球学生選手権大会」は、8月6日～8月8日に東京都で行なわれ、「JBC札幌」は初戦で東京都町田市の「オリオールズレディース」と対戦し健闘しましたが2対7で敗れました。

今回、鶯飼さんに全国大会などについてインタビューを行いました。



もっと活躍して注目される選手になりたいです。

チームメイトには、「一勝するたに明るくプレーしよう」と伝え、チームのムードを明るくすることで実力を発揮できるように盛り上げ、チームを一つにまとめました。

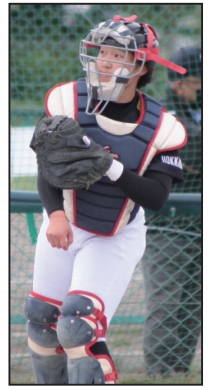
キャプテンとして、全道各地から集まったチームメイトをどのようにしてまとめましたか

配球をミスしないようにすることが難しいです。

キャッチャーの難しいところは

兄が野球をする姿を見て、野球に興味を持ったのがきっかけです。小学校1年生のときに赤平レックスに入りました。

野球を始めたきっかけは



時間があがる時は勉強し、時間を無駄にしないことを心掛けています。

野球と学業の両立は大変だと思いますが、なにか心掛けていることはありますか

全日本女子軟式野球学生選手権大会で得た経験や教訓を生かし、勝利に向けて頑張ります。

次の大会へ向けての抱負をお願いします

東京のチームには、これまで対戦したことない、さまざまなタイプの選手がいましたので、今までにない経験を積むことができたことが良かったと思います。

全日本女子軟式野球学生選手権大会の感想を聞かせてください



中学校卒業後の目標をお聞かせください

高校で女子硬式野球部に入部して、もっと活躍し注目される選手になりたいです。

市民のみなさんに向けて一言お願いします

これからも全力でプレーしますので、応援よろしくお願いします。



8月2日、コーチを務める父・嘉光さんと赤平市役所を訪れ、畠山市長に全国大会出場を報告しました。

